

第8回日台アジア未来フォーラム 並びに  
東呉大学マンガ・アニメ文化国際シンポジウム

グローバルなマンガ・アニメ研究のダイナミズムと新たな可能性  
ーコミュニケーションツールとして共有・共感する映像文化論から  
学際的なメディアコンテンツ学の構築に向けてー

主催：東呉大学日本語学科、東呉大学図書館、(公財)渥美国際交流財団関ログローバル研究会 (SGRA)

共催：東呉大学英文学科、東呉大学教養教育センター

後援助成者：中華民国教育部、中華民国外交部、中華民国三三企業交流会、台日商務交流協進会

(独)国際交流基金、(公財)日本台湾交流協会、中鹿營造股份有限公司

ケミカルグラウト株式会社、日商全日本空輸股份有限公司台北支店、台湾住友商事股份有限公司

台湾本田汽車股份有限公司、台湾三菱電機股份公司、みずほ銀行 台北支店 (順不同)

名義賛助者：講談社、台湾日本人会、台北市日本工商会 (順不同)

会場：東呉大学外双溪キャンパス 第一教学研究棟普仁堂 (大講堂)

開催日：2018年5月25日(金) 14:40~26日(土) 17:40

【特別講演会】

時間	2018年5月25日(金) 普仁堂(大講堂) 14:40~17:40
14:40-15:20	受付開始
15:20-15:30	開会の辞：董保城(東呉大学副学長) / 今西淳子(渥美国際交流財団常務理事) 松原一樹(日本台湾交流協会台北事務所広報文化部長)
15:30-15:40	記念撮影@ 第一教学研究棟1階普仁堂
15:40-17:30	司会者：朱廣興(東呉大学日本語文学科教授) 講演者：弘兼憲史(漫画家：『島耕作』シリーズ作者) テーマ：漫画から学んできたこと
17:30-17:40	閉会の辞：蘇克保(東呉大学日本語学科副教授兼学科主任)

日台アジア未来フォーラム/国際シンポジウム

時間	2018年5月26日(土) 普仁堂(大講堂) 08:00~17:40
8:00-8:30	受付開始
8:30-8:40	開会の辞：董保城(東呉大学副学長) / 今西淳子(渥美国際交流財団常務理事) 浅田雅子(日本台湾交流協会台北事務所広報文化室主任) 高橋伸一(台湾日本人会日台交流部会長)
8:40-8:50	記念撮影@ 第一教学研究棟1階普仁堂
8:50-9:35	基調講演(一) 普仁堂(大講堂) 司会者：蘇克保(東呉大学日本語学科副教授兼学科主任) 講演者：表智之(日本北九州市漫画ミュージアム専門研究員) テーマ：研究者のネットワーク化とマンガ研究の進展—学会・地域・ミュージアム—
9:35-10:20	基調講演(二) 普仁堂(大講堂) 司会者：邱若山(静宜大学日本語文学科教授) 講演者：宣政佑(韓国 Comicpop Entertainment President) テーマ：韓国ではアジア漫画をどう見てきたか—韓国におけるアジア漫画の輸入・紹介史
10:20-11:05	基調講演(三) 普仁堂(大講堂) 司会者：林聰敏(東呉大学ドイツ文化学科教授兼図書館館長) 講演者：秦剛(北京外国語大学北京日本学研究中心教授) テーマ：戦後日本最初の長編アニメーション『白蛇伝』における「中国」表象と「東洋」幻想
11:05-11:20	ティータイム @ 第一教学研究棟1階 戴氏基金会会議室

<b>パネル ディスカッション 普仁堂 (大講堂)</b>				
11:20-12:20	主題：グローバルなマンガ・アニメ研究のダイナミズムと新たな可能性 司会者：今西淳子（渥美国際交流財団常務理事） パネリスト： 表智之（北九州市漫画ミュージアム専門研究員）／宣政佑（韓国 Comicpop Entertainment President） 秦剛（北京外国語大学北京日本学研究中心教授）／梁世佑（台湾 U-ACG／旭メディアテクノロジー会社創業者） 黄瀛洲（台湾アニメーション評論団体「傻呼嚕同盟」発起人）／住田哲郎（京都精華大学専任講師）			
12:20-13:30	<b>ご昼食 @ 第一教学研究棟 1階 戴氏基金会会議室</b>			
13:30-14:10	<b>基調講演 (四)</b>		<b>基調講演 (五)</b>	
	A 会場 (R0302 教室)		B 会場 (R0305 教室)	
	司会者：羅濟立 （東呉大学日本語文学科教授兼学科副主任） 講演者：梁世佑 （台湾 U-ACG／旭メディアテクノロジー会社創業者） テーマ：日本のアニメから見る国家と社会の構造 —人型ロボット兵器を例に—		司会者：李宗禾 （東呉大学日本語文学科副教授兼教養教育センター主任） 講演者：黄瀛洲 （台湾アニメーション評論団体「傻呼嚕同盟」発起人） テーマ：未来を見据えた台湾アニメの発展 —アニメ映画『重甲機神 BARYON』を例に—	
<b>論文発表 (セッション形式) 14:20~17:20</b>				
14:20-15:40	A-1 会場 (R0302 教室)	B-1 会場 (R0305 教室)	C-1 会場 (R0312 教室)	
	コメンテータ兼司会者：李偉煌 （静宜大学日本語文学科副教授兼学科主任）	コメンテータ兼司会者：楊錦昌 （輔仁大学日本語文学科教授）	コメンテータ兼司会者：游珮芸 （台東大学大学院児童文学研究科副教授兼学科長）	
	1 発表者：呂佳蓉 （台湾大学言語学大学院助理教授） テーマ：ACG 文化による言語の伝播と受容	7 発表者：徐錦成 （高雄科技大学文化創意産業学科副教授） テーマ：野球とマンガの親和性—中華職業棒球大聯盟の二度にわたる野球マンガへの干渉を中心に—	13 発表者：黄璽宇 （識御者知識行銷創業者、台湾哲学カウンセリング学会共同発起人） テーマ：個人の存在と集団の存在 —トマス・アクイナス思想から映画『聲の形』における生きづらさを論じる—	
	3×20分 （発表時間）+20分 （総合質疑討議）=80分	2 発表者：住田哲郎 （京都精華大学専任講師） テーマ：文字の違いに見るマンガ翻訳の不可能性	8 発表者：陳 龔 （東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学表象文化論コース博士課程） テーマ：国境を超える連携—中国初期アニメーション史からみたイマドキのアニメーション生産トレンド	14 発表者：周文鵬 （月鳥齋圖文創工作室責任者、淡江大学中国語学科、中原大学教養教育センター非常勤助理教授） テーマ：デバイス変奏曲：縦スクロール漫画の原理と趨勢
	3 招待発表者：DALE, Sonja （一橋大学社会学研究科専任講師） テーマ：2D のような 3D—日本のアニメ業界における CG 業界へのシフト—	9 発表者：李岩楓 （京都精華大学博士後期課程マンガ研究科理論 在学） テーマ：オノマトペ—日本マンガにおける図面表現及び中国マンガへの応用の可能性	15 発表者：田 昊 （東呉大学中国語学科大学院博士課程 在学） テーマ：浦沢直樹漫画芸術におけるフィルムセンスの創造力について	

	質疑応答	質疑応答	質疑応答
15:40-16:00	<b>ティータイム (3階廊下)</b>		
	<b>A-2 会場 (R0302 教室)</b>	<b>B-2 会場 (R0305 教室)</b>	<b>C-2 会場 (R0312 教室)</b>
	コメンテータ兼司会者： <b>DALE, Sonja</b> (一橋大学社会学研究科専任講師)	コメンテータ兼司会者： <b>林立萍</b> (台湾大学日本語文学科教授兼日本研究センター主任)	コメンテータ兼司会者： <b>余曜成</b> (台大智活センター専門研究員/プロジェクトマネージャー)
16:00-17:20  3×20分 (発表時間)+20分 (総合質疑討議)=80分	<b>4</b> 発表者： <b>小高裕次</b> (文藻外国語大学日本語文学科 助理教授) テーマ： <b>ライトノベルのアニメ 化に際する諸要素の増減につい て『涼宮ハルヒの憂鬱』を例 に</b>	<b>10</b> 発表者： <b>沈美雪</b> (中国文化大学日本語文学科副教 授) テーマ： <b>日本のマンガ・アニメにお ける「時間遡行」作品の構造分析—死 と再生、ループ、選択を手掛かりに—</b>	<b>16</b> 発表者： <b>周惠玲</b> (華梵大学哲学学科、放送・メディアコ ース兼任助理教授) テーマ： <b>ストーリーマンガと児童文学の 競合関係—『不思議の国のアリス』を元 にしたマンガを例に—</b>
	<b>5</b> 発表者： <b>永井隆之</b> (政治大学日本語文学科助理教 授) テーマ： <b>漫画『ONEPIECE』の組織 論 海賊団「麦わらの一味」の 性格</b>	<b>11</b> 発表者： <b>林曉淳</b> (世新大学日本語文学科助理教授) テーマ： <b>『高橋留美子劇場』から見る 日本の家族像</b>	<b>17</b> 発表者： <b>呉昀融</b> (東京大学東洋文化大学院客員研究員 /台湾大学政治学大学院博士課程) テーマ： <b>『NARUTO—ナルト—』から核武 装論を再検討する</b>
	<b>6</b> 発表者： <b>林蔚榕</b> (東呉大学日本語文学科助理教 授) テーマ： <b>日本のマンガにみるプ ロフェッショナルの態度と行動 特性—料理マンガを中心に—</b>	<b>12</b> 招待発表者： <b>李偉煌</b> (静宜大学日本語文学科副教授兼学 科主任) テーマ： <b>日本のアニメを取り入れた ランゲージエクステンション授業の試 み</b>	<b>18</b> 発表者： <b>詹宜穎</b> (政治大学中国語学科博士課程在学、非 常勤講師) テーマ： <b>混血の葛藤、その狂気と輝き— 『東京喰種トーキョーグール』から見た 混血種のアイデンティティにおける調 和と超越—</b>
	質疑応答	質疑応答	質疑応答
17:30-17:40	閉会式：普仁堂 閉会の辞：林聰敏 (東呉大学ドイツ文化学科教授兼図書館館長)		